史跡名勝天然記念物の指定等

《特別史跡の新指定》　１件

１　福井洞窟【長崎県佐世保市】

史跡福井洞窟は、長崎県佐世保市吉井町に所在し、長崎県北部の国見山系から西流する福井川の侵食により形成された砂岩洞窟である。遺跡は、昭和１０年に発見され、昭和３５年に日本考古学協会西北九州総合調査特別委員会により発掘調査が実施された。この調査により、洞窟は１５層の堆積からなることが確認され、２・３層で縄文時代草創期土器と細石刃石器群が共伴し、４層より下位では土器が伴わない文化層が複数検出された。また、その年代が明らかにされたことにより、旧石器時代から縄文時代への文化的変遷や縄文時代の成立を考える上で貴重であることから、昭和５３年に史跡に指定された。平成２４年以降に行われた史跡整備に伴う再発掘調査では、既往調査の石器群変遷が検証されるとともに、新たに後期旧石器時代末（１万９千～１万７千年前）の炉跡４基が重層的に検出された。また土壌堆積、年代測定等の多角的分析により、洞窟の形成過程と人類活動との関係が詳細に明らかにされた。本遺跡は、更新世末の環境変動期に位置付けられる我が国の旧石器時代から縄文時代の移行期における人類の生活実態を具体的に示している。縄文文化の起源に関する学史的意義とともに、その学術的価値はきわめて高く、特別史跡に指定するものである。

《史跡の新指定》　１０件

１　黒山の昔穴遺跡【岩手県九戸郡九戸村】

黒山の昔穴遺跡は、九戸村北西部の標高８５２ｍの折爪岳を頂点として南北に連なる脊梁山地から東へ突き出た尾根上に位置する。平安時代後半の高地性集落跡で、竪穴建物跡等の遺構が埋まりきらずに残った窪みが６５か所、確認されている。

遺跡は地形からＡ～Ｃ区の３か所に分かれ、いずれの地区でも窪みの配列には計画性が見られる。また、発掘調査は５基の窪みを対象に行われ、いずれもカマドを有する１０世紀後半の竪穴建物跡で刀子や鏃、馬具と考えられる鉤状の鉄製品や青森県西部からの搬入品と考えられる須恵器等が出土した。

古代の高地性集落は、東北北部でしばしば確認され、その立地から防御性集落のひとつと考えられていたが、堀跡や土塁などの防御に伴う施設がほとんどないことや発掘調査での出土遺物などの検討から、木地など山林資源の利用に係る集落と考えられようになってきた。また、本遺跡の西側の山地には九戸から二戸へと向かう古道が通過していることから、交易に深く関わる集落であった可能性もある。平安時代後期における山地の集落の在り方、成立事情や目的を知る上で重要である。

２　西方城跡【栃木県栃木市】

西方城跡は、宇都宮氏家中国人領主である西方氏による築城と考えられ、宇都宮氏の廃絶後は結城秀康領、関ケ原の戦いの後は、西方藩１万５千石の本城として藤田信吉が領有するが、元和元年（１６１５）に西方藩が廃されると同時に廃城となった。山頂部には南北の丘陵尾根上に主要な曲輪が連なり、山麓部に曲輪群が広がる。山麓部は方形の曲輪を中心とする曲輪群で構成される。西方氏段階では山頂部、結城氏段階では山頂、山麓双方、藤田氏段階では山麓部東側という城館自体の変遷が推定できる。城の役割も時代により大きく異なり、西方氏の段階では宇都宮領の飛地で、小田原北条氏に対する境界の城館であったこと、結城氏段階では徳川領国の北限で上杉氏に対する境界の意味合いが強くなるなど、規模と構造の変遷が、地政的な北関東の政治的緊張と連動しており、戦国期から近世の政治状況、社会構造の変化を示していると考えられる。また、遺構の遺存状況も良好であり、我が国における中世後半から近世初頭にかけての城館の形態と変遷や築城技術を知る上で重要である。

３　上野国分尼寺跡【群馬県高崎市】

上野国分尼寺跡は、聖武天皇が発した天平１３年（７４１）の国分寺造立の詔によって造営された国分尼寺の一つである。榛名山東南麓の相馬ヶ原扇状地の扇端部にあり、西３００ｍほどには史跡上野国分寺跡がある。高崎市教育委員会による発掘調査が行われ、南から金堂・尼坊が配され、金堂に回廊がとりつく伽藍配置が明らかになった。伽藍地範囲は１６２ｍ（５４０尺）四方で、区画施設としては、西辺以外は築地塀の痕跡が、西辺には溝が確認されている。尼坊跡は礎石の残存を６箇所で確認し、身舎は桁行１５間・梁行２間で、南北に各１間の庇がつく切妻建物である。回廊跡は、ほぼ原位置の礎石を６箇所確認し、梁行１間・柱間約１４尺（４．２ｍ）の単廊で、東面・西面は桁行１３間と推定され、回廊跡・尼坊跡とも瓦が多量に出土し、それぞれ瓦葺建物である。国分寺創建後の８世紀中葉頃に造営が行われ、１１世紀代までには廃絶したとみられる。史跡上野国分寺跡とあわせて国分二寺の状況が分かる全国でも貴重な例で、古代の仏教文化を理解する上で重要である。

４　デーノタメ遺跡【埼玉県北本市】

デーノタメ遺跡は、大宮台地を開析する江川流域左岸の標高約２１ｍの台地から同１７ｍの低地にかけて立地する、縄文時代中期後葉から後期前葉に属する環状集落等を特徴とする大規模集落跡である。

台地部の居住域には多数の竪穴建物跡が広がっており、中期の環状集落は長径２１０ｍ、短径１６０ｍの長楕円形に展開し、中央部に広場を設ける構造である。主要な時期を構成するものは勝坂式期から加曽利ＥⅢ式期である。後期の弧状を呈する大規模集落は長径２７０ｍの大規模なものであり、主要な時期を構成するものは堀之内１式期から加曽利Ｂ１式期である。

中期集落と後期集落はともに台地に近接する水場を伴っており、クルミ、クリ、トチノキなどの大型植物遺体や、漆塗製品、花粉、昆虫遺体などの有機質遺物が多量に検出された。

デーノタメ遺跡では約１２００年もの長期にわたる水場を伴う集落が良好に保存されており、縄文時代中期から後期にかけての環境変化とそれに適応した人々の活動痕跡を知る上で重要である。

５　坊の塚古墳【岐阜県各務原市】

坊の塚古墳は木曽川によって形成された各務原台地の東端に所在する、岐阜県第２位の規模の前方後円墳である。葺石、埴輪を備えた墳長１２０ｍ、三段築成の前方後円墳であり、盾形とみられる周濠が巡る。築造時期は古墳時代前期末ごろと考えられている。後円部の竪穴式石室の盗掘坑内から、鉄鏃・刀子・鉄斧等の鉄製品、斧形・刀子形・勾玉・管玉・棗玉・臼玉などの滑石製品などが出土した。後円部頂では、小型丸底壺、小型高杯、笊形土器といった小型土器と、魚形土製品、モチ状土製品、豆形土製品といった食物形土製品を用いた祭祀がおこなわれた。畿内地域に由来する円筒埴輪を墳頂部外周に、在地的な壺形土器を埋葬施設周辺に配置・配列していたとみられ、地域首長による埴輪祭祀の受容の在り方の一端をうかがうことができる。眼下には後に東山道が敷設されるなど、東西の陸路と木曽川の流路とが交わる交通の要衝に位置しており、ほぼ同時期に築造された大垣市所在の昼飯大塚古墳とともに、当該期のヤマト政権による東国政策や地域首長の動向を考えるうえで重要である。

６　東氏館跡及び篠脇城跡【岐阜県郡上市】

東氏館跡及び篠脇城跡は、東国御家人千葉氏の一族で室町幕府奉公衆の東氏が在国するにあたり築いた館跡と、背後の標高４８６ｍの篠脇山に築いた山上居館及び東氏撤退後に城郭化された城跡である。１５世紀中葉以降に東氏により、栗巣川左岸の河岸段丘上に、園池や礎石・掘立柱建物、溝などを配した館が建設された。館は、１６世紀前葉の火災により廃絶し、一方山上部は１６世紀初頭に、それまで「山亭」等の施設が設

営されていた篠脇山山頂の平坦面に、周囲を塀で囲い園池や礎石建物を構える山上居館が築かれ拠点が移った。饗応に用いられた土師器皿や、青白磁等の高級陶磁器類が出土し、山上の居館として機能していたことが判明する。１６世紀中葉、東氏が撤退した後に、山上の主郭は、園池が埋め立てられ出入口が閉塞されるなど、居館としての機能が停廃され、主郭の周囲に切岸と畝状空堀群が取り囲み、南方の登城に対する堀切などを持つ堅牢な城郭に、全体が再構築される。庭園を備えた山麓の居館から山上へ移り、そして発達した山城の造営という、１５世紀中葉から１６世紀中葉にかけての国人クラスの武家拠点の変遷が判明し、美濃国北部をめぐる政治勢力の様相を知るために重要な遺跡である。

７　高尾山古墳【静岡県沼津市】

高尾山古墳は、愛鷹山から延びる尾根の先端部、標高約１５ｍに立地する古墳出現期の前方後方墳である。駿河湾から浮島沼につうじる水上交通と東西南北の陸上交通が交わる要衝に築かれている。墳丘は、くびれ部が細く、わずかな屈曲点を伴いながら直線的に開く前方部が特徴的で、墳丘長は６２．２ｍ、周溝を含めた全長は６９．０ｍである。周溝は、墳丘北側で幅約８ｍで、概ね墳丘と相似形にめぐっている。

後方部頂のほぼ中心に長辺３．４ｍ、短辺１．２ｍの長方形を呈する墓坑が構築され、その中央部で木棺の痕跡が確認されている。副葬品には青銅鏡１面、鉄槍２本、鉄鏃３２点、鉇１点、勾玉1点がある。また、墳頂部や周溝から出土した土器には在地系土器と北陸系、近江系、東海西部系、関東系等の外来系土器がある。

高尾山古墳は３世紀中頃に水陸交通の要衝に築造された東日本最古級の大規模前方後方墳で、豊富な副葬品や外来系土器は広域に及ぶ他地域との交流を示している。古墳文化の東日本への広がりやヤマト政権成立期における政治的、社会的情勢を知る上で重要である。

８　物集女城跡【京都府向日市】

桂川右岸に位置する山城国乙訓郡、葛野郡一帯は西岡と呼ばれ、数多くの中世城館が分布しており、そのうちの物集女城跡は、乙訓郡の国人が統一的な意思を示した「乙訓惣国」の一人物集女氏の居城である。物集女城跡に東接する物集女街道は北で山陰道と接し、南で西国街道と接する重要な交通路であった。物集女氏が最初に史料に現れるのは、応仁の乱後の長享元年（１４８７）で、西岡に本拠を持つ物集女光重ら６名が「惣国大儀」であるから東寺に銭を出すよう東寺領荘官に送った文書である。この中世史上著

名な「乙訓惣国」は１５世紀末までは続いた。織田信長の上洛に際して細川藤孝が西岡に入ったが、天正３年（１５７５）にその藤孝の命により物集女忠重が謀殺され、物集女氏は滅亡する。物集女城跡は、南北約７５ｍ、東西約７０ｍのほぼ方形で単郭式の城館で、幅１１から１２ｍ前後の堀、高さ２．１ｍの土塁に囲まれている。出土遺物から城の廃絶は物集女忠重が殺害された頃とみられる。京都近郊に残る中世城館は数少なく、畿内近国の中世の政治経済状況を知る上で重要である。

９　平城貝塚【愛媛県南宇和郡愛南町】

平城貝塚は、愛媛県南宇和郡愛南町に所在し、西南四国の御荘湾沿岸に位置する縄文時代後期を中心とした貝塚遺跡である。明治２４年に寺石正路によって発見され、『東京人類學會雑誌』に報告され、知られるところとなった。本格的な調査は戦後に行われ、貝塚の中心部で行われた第１次調査では、ハマグリを主とする純貝層と混土貝層が確認された。混土貝層の出土土器は、「平城式」として現在に至るまで縄文時代後期中葉の標式とされている。その後の調査により、遺跡の範囲は南北１７０ｍ、東西８８ｍの範囲に及ぶことが明らかとなり、５か所の地点貝塚、貯蔵穴、配石墓を含む土坑墓等が確認されている。出土遺物には、土器のほか、遺跡近傍の石材であるホルンフェルスを用いた石器、骨製ヤス、貝輪、猪牙製垂飾品等が見られ、また獣骨や魚骨、貝類等の動物遺体も豊富に得られており当時の資源獲得や生業活動、精神文化のあり方を示している。土坑墓からは埋葬人骨が複数体出土し、伸展葬が多数を占めることが明らかとなっており、当時の埋葬方法を具体的に知ることができる。本遺跡は、西日本太平洋側に希少な縄文時代貝塚であり学史上重要であるとともに、当時の生業、墓制を物語る遺跡として貴重である。

10　六郷山【大分県国東市、豊後高田市】

六郷山は国東半島に位置する豊後国国東郡六郷の山岳地帯に点在する約１００か所の天台宗寺院や岩屋の総称である。縦に上がっていく参道を持ち両脇に堂宇を配置する山の寺や、谷に位置する谷の寺などから構成される。六郷山のはじまりは多くの寺では養老年間（７１７～７２３）とされ、宇佐宮・弥勒寺の影響下にあったとみられる。保安元年（１１２０）に延暦寺に寄進された。六郷山の寺々は長安寺を中核寺院として、本山・中山・末山という三山のグループに編成され、安貞２年（１２２８）には六郷山は鎌倉将軍家の祈祷所となり、元寇に際しては祈祷が行われた。１７世紀になると峰入りを通して六郷山（六郷満山）のまとまりを維持させている。六郷山のうち、山の

寺で六郷山の中核寺院である長安寺、中世の石像や国東塔がある岩戸寺、谷の寺で江戸末期建立の講堂などがある天念寺や中世墓地のある夷岩屋を指定する。岩屋を中心とした非常に伝統的な宗教空間をもっており、古代から中世にかけての信仰のあり方や変遷を考える上で貴重である。

《特別史跡の追加指定》　３件

１　藤原宮跡【奈良県橿原市】

持統天皇８年（６９４）から和銅３年（７１０）まで営まれた古代の都城跡。藤原京跡の中心部に位置し、約１ｋｍ四方の区画内に内裏、大極殿及び役所群が建てられた。今回、条件の整った区域を追加指定する。

２　水城跡【福岡県太宰府市・大野城市】

天智天皇３年（６６４）、唐・新羅の侵攻に備えて築造され、後に大宰府を守った防御施設。全長約１．２ｋｍに及ぶ土塁と濠からなり、古代の軍事を知る上で貴重である。今回、博多湾側の濠と大宰府側の濠のうち条件の整った地点を追加指定する。

３　臼杵磨崖仏　附　日吉塔　嘉応二年在銘五輪塔　承安二年在銘五輪塔

【大分県臼杵市】

平安後期から鎌倉時代にかけて彫刻されたといわれるわが国有数の石仏群。臼杵川右岸の深田・中尾地区にある４群６１躯、そこから７ｋｍ下流に位置する大日石仏７躯などからなる。今回、深田・中尾地区にある古園石仏前庭部の中世仏堂遺構の追加指定を行う。

《史跡の追加指定及び名称変更》　５件

１　古市古墳群【大阪府羽曳野市】

古室山古墳
赤面山古墳
大鳥塚古墳
助太山古墳
鍋塚古墳
城山古墳
峯ヶ塚古墳

墓山古墳
野中古墳
応神天皇陵古墳外濠外堤
鉢塚古墳
はざみ山古墳
青山古墳
蕃所山古墳
稲荷塚古墳
東山古墳
割塚古墳
唐櫃山古墳
松川塚古墳
浄元寺山古墳
白鳥陵古墳周堤
仲姫命陵古墳周堤
安閑天皇陵古墳周堤

（安閑天皇陵古墳周堤を追加指定する）

大阪府の東南部に所在する、古墳時代中期から後期にかけて形成された我が国を代表する古墳群の一つ。巨大前方後円墳をはじめ小型の円墳・方墳等で構成される。今回、６世紀前半に築造された墳長１２２ｍの安閑天皇陵古墳の周堤を新たに追加する。

２　阿波遍路道【徳島県阿波市】

大日寺境内
地蔵寺境内
切幡寺境内
焼山寺道
一宮道
常楽寺境内
恩山寺道
立江寺道
鶴林寺道
鶴林寺境内
太龍寺道

かも道
太龍寺境内
いわや道
平等寺道
平等寺境内
雲辺寺道

（切幡寺境内を追加指定する）

空海ゆかりの霊場を巡拝する信仰の道。これまでに阿波国（徳島県）分として、札所寺院６か所、遍路道１０か所を指定している。今回、１８世紀以来の地形が残る１０番札所切幡寺境内を指定する。

３　伊予遍路道【愛媛県松山市】

観自在寺道
稲荷神社境内及び龍光寺境内
仏木寺道
明石寺道
明石寺境内
大寶寺道
大寶寺境内
岩屋寺道
岩屋寺境内
浄瑠璃寺道
浄瑠璃寺境内
八坂寺境内
浄土寺境内
繁多寺境内
横峰寺道
横峰寺境内
三角寺奥之院道

（繁多寺境内を追加指定する）

空海ゆかりの霊場を巡拝する信仰の道。これまでに伊予国（愛媛県）分として、札所寺院８か所、遍路道８か所を指定している。今回、一遍聖絵の詞書に記された５０番札所繁多寺境内を追加する。

４　田主丸古墳群【福岡県久留米市】

田主丸大塚古墳

寺徳古墳

中原狐塚古墳

西館古墳

益生田古墳群

（益生田古墳群を追加指定する）

福岡県の南部に所在する、田主丸大塚古墳を頂点とする階層構造をもつ装飾古墳群。人物・格子文・同心円文の文様を敲打で施す装飾が確認された益生田古墳群Ａ群１２号墳を含む益生田古墳群を追加し、名称を変更する。敲打による装飾が、階層的に下位の群集墳中の中小古墳において成立したことを示すとともに、装飾においても階層構造が認められる点で重要。

５　大島畠田遺跡　附　郡元西原遺跡【宮崎県都城市】

（附として郡元西原遺跡を追加指定する）

９世紀後半から１０世紀前半の地域開発を主導した富豪層の館跡と考えられる史跡大島畠田遺跡に、１１世紀後半から１２世紀前半にかけて、新たに開発される窪地地帯に近接する領主居館跡と考えられる郡元西原遺跡を附指定し、古代から中世への社会の変化を具体的に示す。

《史跡の追加指定及び解除》　１件

１　橘塚古墳【福岡県京都郡みやこ町】

６世紀末に築造された南北約３７ｍ、東西約３９ｍの方墳。古くから開口していた横穴式石室は、複室構造で、残存長１６．３ｍの規模を有する。近接する史跡綾塚古墳とともに、北部九州を代表する巨石墳として重要。

《史跡の追加指定》　２６件

１　仙台郡山官衙遺跡群【宮城県仙台市】

郡山官衙遺跡

郡山廃寺跡

律令国家が東北経営のために設置した城柵跡。７世紀中頃のⅠ期官衙と、Ⅰ期官衙

を取り壊して、建物等の向きを真北方向に建て替えた７世紀末頃のⅡ期官衙（陸奥国府）及び郡山廃寺跡からなる。今回、Ⅱ期官衙の外郭南門の南にあたる範囲を追加指定する。

２　二本松城跡【福島県二本松市】

中世に畠山氏によって築かれ、伊達・蒲生・上杉・加藤氏による支配を経て、近世に二本松藩主丹羽氏の居城となった城跡である。幕末期の絵図で確認され、近年の発掘調査により明らかになった藩校敬学館跡及び内大手地区を追加指定する。

３　上野国多胡郡正倉跡【群馬県高崎市】

和銅４年（７１１）に建郡された、上野国多胡郡の田租や出挙で徴収した稲などを収納する倉庫群跡。特別史跡多胡碑の真南約３５０ｍに位置し、発掘調査によれば正倉の創建は８世紀前半である。今回、正倉区画北西部の条件の整った部分の追加指定を行う。

４　午王山遺跡【埼玉県和光市】

埼玉県東南部、荒川を望む独立丘陵上に位置する弥生時代後期の大規模な環濠集落。１５０棟以上の竪穴建物と多重の環濠が検出された。北関東系や南関東系の複数の他地域の出土遺物が認められ、関東地域における弥生時代後期の地域間交流の実態を考える上で重要。今回、条件の整った範囲を追加指定する。

５　月ノ木貝塚【千葉県千葉市】

千葉県中央部に所在する、縄文時代中期から後期に形成された大型貝塚を伴う集落遺跡。東西１５０ｍ、南北２００ｍの範囲に馬蹄形に広がる貝塚が良好に残存する。出土した動物遺体は当時の生業を知る上で重要。今回、遺跡北方の斜面部を追加指定する。

６　小田原城跡【神奈川県小田原市】

伊勢宗瑞（北条早雲）以来、小田原北条氏代々の手で関東支配の拠点として整備・拡張がなされた城跡。近世には有力譜代大名が配された。本丸、二の丸、三の丸、総構などから構成される。今回は、総構の中に位置する百姓曲輪と総構二重外張の条件の整った部分の追加指定を行う。

７　甲府城跡【山梨県甲府市】

豊臣政権下、関東の徳川氏に対する抑えとして築かれ、江戸時代には徳川一門・甲府

藩の居城ともなった城跡である。近年の調査研究により様相が明らかになった大手門周辺の内堀で条件の整った区域を追加指定する。

８　断夫山古墳【愛知県名古屋市】

愛知県名古屋市に所在する、古墳時代後期前半に築造された、墳長約１５０メートルを測る東海地域最大級の前方後円墳。古墳時代後期における政治と社会を知るうえで重要。今回、周濠と周堤に復元される周辺部について、条件の整った区域を追加指定する。

９　綴喜古墳群【京都府八幡市】

大住車塚古墳
八幡西車塚古墳
天理山古墳群
飯岡車塚古墳

古墳時代前期後葉から中期初頭に木津川左岸に造られた前方後円墳及び前方後方墳。当時の政治的動向と首長墓の築造の実態を知るうえで重要。八幡西車塚古墳の前方部前端周辺の条件の整った区域を追加指定する。

10　久津川古墳群【京都府城陽市】

久津川車塚古墳
丸塚古墳
芭蕉塚古墳
久世小学校古墳

京都府南部に所在する、古墳時代中期前葉から中葉に築かれた階層構造をもつ古墳群。地域の大首長が大和政権の中枢部と密接な関わりをもちながら地域支配を行った状況を示し、古墳時代の政治や社会のあり方を知る上で重要。芭蕉塚古墳について、造り出しなど、条件の整った区域を追加指定する。

11　藤原京跡　【奈良県橿原市】

朱雀大路跡
左京七条一・二坊跡
右京七条一坊跡

持統天皇８年（６９４）から和銅３年（７１０）まで営まれた古代の都城跡。中心にある藤原宮跡は特別史跡となっている。朱雀大路跡は宮の正門である朱雀門から南へ延びる道路跡で、それを境に西側を右京、東側を左京に区分する。今回、左京七条一・二坊の条件の整った部分を追加指定する。

12　宮山古墳【奈良県御所市】

奈良盆地南西端の巨勢山丘陵北麓に、古墳時代中期前葉に築造された墳長２４５ｍの大型前方後円墳。周濠と周堤を巡らし、周堤に組み込まれた位置に方墳のネコ塚古墳が存在する。後円部の２基の竪穴式石室やその副葬品、埴輪樹立の実態が明らかとなっている大型前方後円墳として重要。今回、条件の整った区域を追加指定する。

13　伊勢本街道【奈良県宇陀郡御杖村】

近世において、西国から大和国を経て伊勢神宮に参詣するため、最も多く利用された街道である。近年の発掘調査により、旧道の路面が検出された桜峠・岩坂峠と旧道の様子が良好に残る鞍取峠を追加指定する。

14　大官大寺跡【奈良県高市郡明日香村】

藤原京条坊の南東に位置する巨大な古代寺院跡。天武２年（６７３）に建立した高市大寺を天武６年（６７７）に大官大寺に改称し、現位置には文武朝に移ったと考えられる。平城京大安寺の前身寺院でもある。金堂や講堂、塔、回廊の跡などが残る。今回、東面回廊跡の条件の整った区域を追加指定する。

15　飛鳥宮跡【奈良県高市郡明日香村】

７世紀代に歴代の天皇の宮殿が造営された宮跡。発掘調査の結果、飛鳥岡本宮（舒明天皇）、飛鳥板蓋宮（皇極天皇）、後飛鳥岡本宮（斉明天皇・天智天皇）、飛鳥浄御原宮（天武天皇・持統天皇）の各期の遺構が確認された。今回、内郭南西部等条件の整った区域を追加指定する。

16　こうもり塚古墳【岡山県総社市】

古墳時代後期、６世紀第３四半期ごろに築造された吉備地方最大の前方後円墳。当時の政治的動向と吉備地域の関係を考える上で重要。今回、古墳築造時に一体的に造成されたと考えられる後円部西側から前方部南側にかけての墳丘周縁部等を追加指定する。

17　津雲貝塚【岡山県笠岡市】

瀬戸内海沿岸の丘陵裾部に形成された縄文時代中期から晩期の貝塚遺跡。大正時代に調査された縄文時代後期から晩期の１７０体に及ぶ埋葬人骨は学史的、学術的に重要。今回、包含層が残存する遺跡の東方部を追加指定する。

18　智頭往来　志戸坂峠越【岡山県英田郡西粟倉村】

岡山・鳥取県境の志戸坂峠を越える、鳥取城下と姫路城下を結ぶ因幡地方から大坂・京への主要街道。江戸時代には鳥取藩主によって参勤交代で使用されていた。今回、明治２０年に完成した国道跡が多く残る岡山県側の追加指定を行う。

19　銚子塚古墳【福岡県糸島市】

福岡県の玄界灘沿岸に所在する４世紀後半の前方後円墳。墳丘長は１００ｍに迫る玄界灘沿岸最大級の規模を有する。大陸から対馬、壱岐、松浦を経由する陸上交通路の要衝にあり、歴史的重要性が高い。今回、前方部の北側隣接地について、条件の整った範囲を追加指定する。

20　曽根遺跡群【福岡県糸島市】

平原遺跡

ワレ塚古墳

銭瓶塚古墳

狐塚古墳

脊振山系から北に伸びる曽根丘陵上に位置し、弥生時代の厚葬墓である平原遺跡と古墳時代中・後期に連続して築造された狐塚古墳、銭瓶塚古墳、ワレ塚古墳の３基の古墳群で構成される。怡土平野を治めた首長墓系列の一端を知る上で重要。今回、ワレ塚古墳について、条件の整った範囲を追加指定する。

21　福原長者原官衙遺跡【福岡県行橋市】

７世紀末から８世紀前半の古代官衙遺跡で、大規模な区画施設の中に大規模掘立柱建物が並び建つ。通常の地方官衙を上回る規模を有し、構造・出土遺物から地方に造営された枢要な国家的施設と考えられ、古代律令国家成立期の地方統治の実態を知る上で極めて重要な遺跡である。

22　阿恵官衙遺跡【福岡県糟屋郡粕屋町】

飛鳥時代から奈良時代にかけての官衙遺跡。評の段階まで遡る政庁や正倉群の他、官衙域に隣接する微高地上において、政庁成立前後の大型竪穴建物等の関連施設が形成されるなど、地方官衙の立地や成立時期、変遷を考える上で重要。

23　御所山古墳【福岡県京都郡苅田町】

５世紀後半に築造された墳長約１１９ｍの３段築成の前方後円墳で、その規模は石塚山古墳とともに豊前地域で最大級である。今回、後円部の周濠および周堤帯部分で条件が整った範囲を追加指定する。

24　姉川城跡【佐賀県神埼市】

南北朝内乱のなかで南朝側の拠点として築かれ、室町期には戦国大名龍造寺氏の有力被官であった姉川氏の居城となった城跡である。大小の島々の周囲に堀を縦横に廻らした「環濠集落」としての特徴を表す、池沼・島状の地形を残す部分を追加指定する。

25　大友氏遺跡【大分県大分市】

戦国大名大友氏の領国支配の拠点となった遺跡である。中世大友府内町跡の一角で、近年の発掘調査により遺構・遺物が良好に保存されていることが明らかになった唐人町跡の町屋域、推定御蔵場跡の北外郭を追加指定する。

26　里官衙遺跡【大分県大分市】

飛鳥時代から奈良時代にかけての官衙遺跡。海部地域を統括していた豪族の居宅からコの字状に配置される官衙への変遷を具体的に示す遺跡であり、古代における地方官衙の成立と展開を知る上で重要。

《名勝の新指定》　２件

１　鳥潟会館庭園【秋田県大館市】

鳥潟会館庭園は、大館市の北部を北から南に流れる花岡川の左岸に位置する。鳥潟会館は、江戸時代を通じて花岡村の肝煎（名主）を務めた鳥潟氏の旧宅で、第１７代当主鳥潟隆三（１８７７－１９５２）によって昭和１０年代に現在の形に整備された。京都帝国大学医学部教授であった隆三は、昭和１０年４月に花岡の実家の庭園と住宅の改造に着手した。庭園の施工は京都の庭師粕谷幸作（１８９２－１９７８）が中心となって行ったが、建物や庭園の材料の調達、施工などにあたっては、隆三が直接指示を出した。庭園は敷地の東半分を占め、北東部の築山とＳ字状の流れ、「五稜池」と名付けられた中央部分の園池、南側の広場、主屋北側の露地（茶庭）から構成される。主人居間からは、手前の園池の水面、中島、石橋などから構成される奥行のある景観が見える。隆三は、昭和２６年に実家の土地と建物を、地元の人々に公民館として利用してもらうために当時の花岡町に寄付した。鳥潟会館庭園は、秋田県地域に造られた近代庭園の事例として、芸術上及び観賞上の価値、日本の近代庭園史における学術上の価値が高く、名勝に指定し保護を図るものである。

２　西氏庭園【石川県金沢市】

西氏庭園は、金沢城下西方の平士級武士の居住区であった長町に位置し、古くからの大野庄用水沿いに所在する近代の住宅庭園である。敷地の北西部に主庭を設け、南東部に主屋、その西側に土蔵、主屋北東部に接して直角に離れを配している。主屋の式台玄関は東に面して表構えには門を建てずに平明な前庭とし、その北側には菜園などに利用する「背戸」と伝統的に呼ばれる内向きの空間が設けられている。主庭は、敷地北西隅に高さ２ｍ余りの築山を設え、中央の池泉を抱くようにその両側にも続けて高まりを造成し、園路を巡らしている。池泉はコンクリートで造作の上、池岸に巨石を配して地割の骨格を成し、主屋居室と離れ座敷からの視線の先にそれぞれ入り江を設けている。離れの正面の池岸に張り出して据えられた拝石、あるいは、園路を登って築山の上に立てば、池泉を巡る対照的な眺めを楽しむことができる。主庭の意匠を特徴付ける庭石や石造物を、県内産のみならず、広く北陸、近畿、東海、瀬戸内などに数多く求めている点は、この庭園の趣向を理解する上で注目される。武家地の伝統的な宅地の在り方に倣いながらも、新たな趣向と工夫を含む近代の優れた住宅庭園で、芸術上及び学術上の価値が高いことから、名勝に指定して保護するものである。

《名勝の追加指定》　１件

１　臨済寺庭園【静岡県静岡市】

１６世紀後半、徳川家康が伽藍を再建した際に造られたと伝わる禅宗寺院の庭園。本堂等の建物と背後の山林の間に山裾に沿って園池を設ける。庭園の視点場となっている本堂及び書院、大正期に造られた茶室と渡り廊下、背後の山林等、既指定地の周囲を追加指定する。

《天然記念物の追加指定及び一部解除》　１件

１　象潟【秋田県にかほ市】

鳥海山で発生した日本最大規模の山体崩壊による流れ山で、山頂から北西の平野に点在する１００余りの小丘。文化元年（１８０４）の地殻変動をともなう地震により隆起。火山活動と地震の変動の痕跡として学術的価値を有する。新たに確認された流れ山を追加指定し、一部を解除する。